

宇治市教育委員会臨時会会議録

日 時 平成25年2月27日(水) 午前8時 開議

場 所 宇治市役所 703会議室

会 議 日 程

- 日程第1** 会議録署名委員の指名について
日程第2 会期について
日程第3 教育長報告
日程第4 議案第4号 平成25年度宇治市教育の重点を策定するについて
日程第5 議案第5号 平成25年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について
日程第6 議案第6号 教職員を任免するについて

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	中 筋 斉 子
委 員	久 富 明 宏
委 員	金 丸 公 一
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	中 谷 俊 哉	次長(兼教育総務課長)	村 田 匡 子
次長(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育改革推進室長(兼教育指導課長)	山 下 一 也
学校教育課長	上 道 貴 志	教育総務課主幹	前 田 聖 子
学校教育課主幹	安 留 岳 宣	教育指導課総括指導主事	市 橋 公 也
小中一貫教育課総括指導主事	瀬 野 克 幸		

(書記職員職氏名)

教育総務課庶務係長	宇 野 裕 美	教育総務課主事	大 石 慎 也
-----------	---------	---------	---------

開 会 (午前8時)

○**開会宣言** 委員長が2月教育委員会臨時会の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、久富委員を指名する。

○**日程第2** 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

○**日程第3** 教育長報告

(1) 議国会派要望について

以上1件を報告する。

[説 明]

(1) 議国会派要望について

平成25年2月8日付けで日本共産党宇治市会議員団より、2013(平成25)年度予算要望書の提出を受けた。

[質 疑] なし

○**日程第4** 議案第4号 平成25年度宇治市教育の重点を策定するについて

[説 明]

「宇治市教育の重点」は、各学校(園)や社会教育など本市における教育の進捗状況を把握して、平成25年度の本市教育の重点事項を示すとともに、教育活動の指針とするため策定するものである。また、より身近に、日常的に教育活動に反映するものにするため、今年度より新たに概要版を作成する。

改定内容については、「学校教育指導の重点」において、家庭との連携による学習習慣の定着を強調、授業改善の具体的な手法を提起、特別活動といじ

め対応の徹底、京都府南部地域豪雨災害を踏まえた学校安全管理体制の充実を盛り込んでいる。「社会教育の充実」において、家庭・地域社会の教育力向上を図るため家庭学習習慣の定着を強調、古典の日に関する法律に伴い古典に関する学習及び古典を活用した学習機会の推進を盛り込んでいる。

[質 疑]

[委 員] 協議会での委員からの指摘で変更した点の説明を願いたい。

[事務局] 概要版の表紙の配色を鮮明なものに変更。これに合わせ、社会教育の重点も配色を変更した。その他文言整理を行った。

[委 員] 概要版を作成した意図はどのようなものか。

[事務局] 宇治市教育の重点は学校現場でのバイブルとなりうるもので、日常的に手元に置き確認できるよう概要版を作成した。本編については各学校に1部配布する予定である。

社会教育の重点においても、見易さという点を意識し、カラー印刷の概要版を作成した。

[委 員] 学校に対しては、本編を1部、各教員に概要版を1部配布予定であるが、社会教育の重点については団体に本編を配布するのか。

[事務局] 社会教育の重点についても、各団体に本編を1部、概要版を必要数配布する。

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○日程第5 議案第5号 平成25年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について

委員長から、本件は宇治市市議会提案前の案件であり公開することにより今後の市議会で影響を及ぼすと考えられるため、また、日程第6議案第6号は人事案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定により両案件を非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

[説 明] 議案第5号「平成25年3月宇治市議会定例会提出議案に係る意見聴取について」は、平成25年3月宇治市議会定例会提出議案として、地方教育行政及び運営に関する法律第29条に基づき、宇治市長から2月25日付けで意見を聴取されているものである。提出議案は、「平成24年度宇治市一般会計補正予

算(第8号)」であり、教育委員会としてこれに異議がないとするものである。

主な内容は、歳入として、京都府南部地域豪雨災害によって被害を受けた小学校、中学校の復旧事業について、国庫負担金の内示があり文教施設災害復旧負担金480万円を追加計上。小学校校舎大規模改造事業費交付金、小学校耐震改修事業費交付金、中学校耐震改修事業費交付金、中学校校舎改築事業費交付金については、国の予備費使用による国庫補助金を活用した前倒し実施のため追加計上するものである。

また、歳出としては、西小倉・北小倉小学校の防火戸改修工事の前倒しのため小学校大規模改造事業費5,628万円の追加計上、菟道小学校のトイレ・ライフライン改修工事の前倒しのため小学校大規模改造事業費1億772万円を追加計上、西小倉・北小倉・南小倉小学校の耐震補強工事の前倒しのため小学校耐震改修事業費5億8,300万円を追加計上、西小倉中学校の耐震補強工事の前倒しのため中学校耐震改修事業費1億2,200万円を追加計上、宇治中学校の校舎改築工事の前倒しのため宇治中学校改築事業費4億3,600万円を追加計上するものである。なお、全額を次年度に繰越すため繰越明許費を制定する。

[質 疑]

[委 員] 説明のあった補正予算は、平成24年度予算に入れて執行するのは25年度ということなのか。

[事務局] そうである。

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○日程第6 議案第6号 教職員を任免するについて

[説 明] 本議案は、定期人事異動に伴う府費負担教職員の管理職の任免について京都府教育委員会に内申するために提案するものである。

小学校校長人事としては、木幡小学校長 宮脇浩、笠取第二小学校長 駒田泰久、神明小学校長 賀家進、西小倉小学校長 北川昌信、岡屋小学校長 中村浩之、大久保小学校長 山花啓伸が定年退職する。

小倉小学校長の後任として現笠取小学校長 伊藤剛を、大久保小学校長の後任として現三室戸小学校長 山田啓二を、神明小学校長の後任として現小倉小学校長 小畑隆を、西小倉小学校長の後任として現大開小学校在籍、教育委員会教育指導課配属の河野恒久を転補する。木幡小学校長の後任として現大久保小学校教頭 八木章を、笠取小学校長の後任として現御蔵山小学校教頭 小山行

雄を、笠取第二小学校長の後任として現菟道小学校教頭 小田康博を、三室戸小学校長の後任として現菟道第二小学校教頭 吉永均を、岡屋小学校長の後任として現岡屋小学校教頭 村田正直を昇任・採用する。西大久保小学校長の後任として現相楽小学校教頭 濱野敏朗を昇格・転入する。

中学校校長人事としては、広野中学校長 園部敏英が定年退職する。広野中学校長の後任として現宇治市教育委員会小中一貫教育課総括指導主事 瀬野克幸を昇格・採用する。現南部小学校長籍の山城教育局総括指導主事 光島正豪が久御山町へ転任する。現西宇治中学校教頭 松元伸祥が西宇治中学校長に昇格し京都府教育委員会学校教育課総括指導主事に採用する。

[質 疑]

[委 員] 西宇治中学校長に昇格し京都府教育委員会学校教育課総括指導主事に採用するとはどのような形なのか。

[事務局] 籍は西宇治中にあるが府教委で勤務するという形になる。よって、西宇治中学校には形式上校長が2人いるということになる。

小学校教頭人事としては、岡屋小学校教頭籍の京都府総合教育センター主任 研究員兼指導主事 辻村敬三が退職する。西小倉小学校教頭 出江英夫及び南小倉小学校教頭 海老瀬正純が退職し、宇治市教育委員会総括指導主事として割愛する。岡屋小学校教頭の後任として現八幡市立八幡小学校教頭の鬼頭宣孝が転入する。大開小学校教頭の後任として現南部小学校教頭 荻野修司を、菟道第二小学校教頭の後任として現笠取小学校教頭 井上浩を、菟道小学校教頭の後任として現大開小学校教頭 飯田康生を填補する。御蔵山小学校教頭の後任として現小倉小学校教諭 安田善一を、笠取小学校教頭の後任として現平盛小学校教諭 石原和彦を、西小倉小学校教頭の後任として現木幡中学校指導教諭 浦田雅彦を、南小倉小学校教頭の後任として現北宇治中学校教諭 村上善輝を昇任・填補する。南部小学校教頭の後任として現宇治市教育委員会指導主事 中井良幸を、大久保小学校教頭の後任として現宇治市教育委員会指導主事 田中多賀子を採用する。

中学校人事としては、槇島中学校教頭 早崎竜一が退職し、京都府立学校総括主事とする。西小倉中学校教頭の後任として現南小倉小学校教頭籍の山城教育局指導主事 南亮司を、北宇治中学校教頭の後任として現西小倉中学校教頭 岩崎正樹を、西宇治中学校教頭の後任として現北宇治中学校教頭 森義明を、槇島中学校教頭の後任として現南宇治中学校教頭 大槻政己を転補する。南宇治中学校教頭の後任として現南宇治中学校教諭 岩場利知を、広野中学校教頭籍山城教育局指導主事として広野中学校主幹教諭 濱田昌一を昇任・採用する。東宇治中学校教頭籍の山城教育局指導主事として現宇治市教育委員会指導主事 永田博嗣を採用する。

[質 疑]

[委 員] 小中学校教頭と府立学校総括主事は同格なのか。

[事務局] 総括主事は教諭なので降格にはなるが、管理職ポストで府立支援学校のグループのトップとなるものである。

[委 員] 市教委へ来られる方は退職となっているが、今後、学校に戻ることはないのか。

[事務局] 形式退職であり、今後府教委に採用され学校に戻ることもある。

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言** 委員長が2月教育委員会臨時会の閉会を宣言する。

閉 会 (午前8時40分)